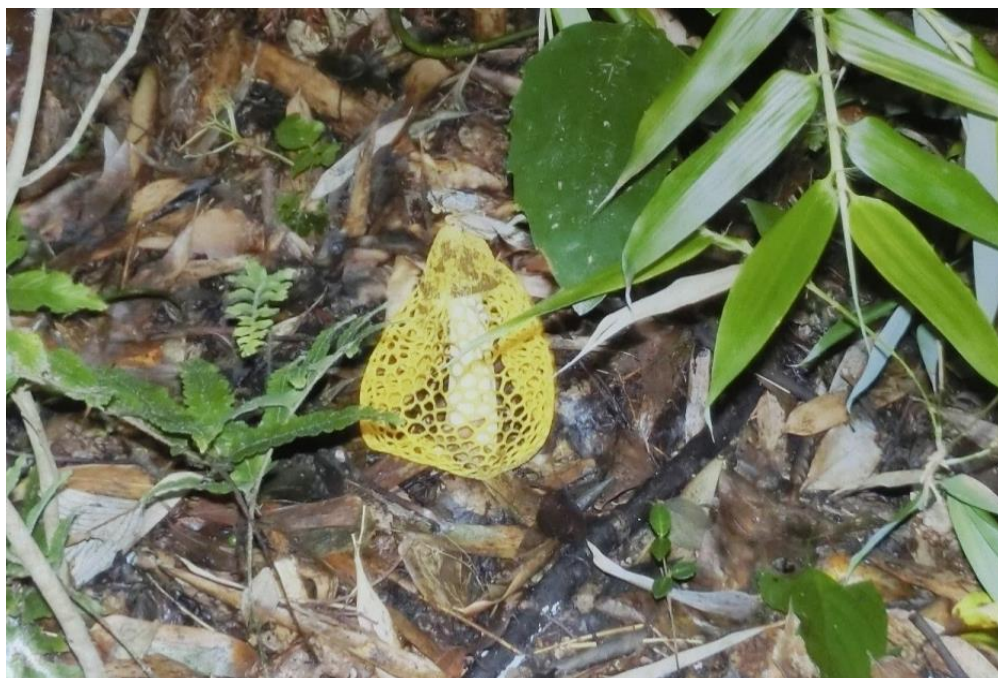


登山クラブに入って

応用化学科 S36年卒 岡野 登 (81歳)



私は福岡市に住んでおりまして、定年退職後（ちくしのみどり会）と言う登山クラブに入っております。この会は大変便利な会です。月に5、6回の行事が記載されたものが送られてきます。4回ぐらいの行事は近辺の日帰りで、現地集合、現地解散です。参加は全くの自由です。その日の体調、天候を考えて参加かどうか決めます。とにかくどの行事も現地に行ってみれば10から20人ぐらいの人が集まっています。

残りの2回ぐらいは貸し切りバスを使っての行程となります、こちらは予約が必要となります。このバス登山のときは軽い登山をして料亭で昼食をとったりします。年1回ぐらいは北アルプス、東北、北海道の山に行くこともあります。このときはきれいな花を見ることが中心となります。現在会員は約120名で年齢は60から85歳くらい、男4割女6割といったところでしょうか。

さてこの現地集合の中で毎年蒸し暑い梅雨時に北九州地区の宗像市の城山登山があります。この目的はウスキキヌガサタケを見るためです。実はこれを見るのは簡単ではないのです。実が開いても半日か1日ではぼんでしまうからです。10年くらい前1回見たことがあります、その後カメラを持って毎回参加しますが毎回ダメでした。昨年は会の行事でなく、雨のかなり降った翌日に独自に行きやっとなり成功しました。この写真をお示しします。（写真がカラーなら黄金色に輝くのですが）